神宮の博物館

令和8年4月～令和9年3月

令和 8 年度　展覧会のご案内

休館日

【徴古館農業館】**木曜日**（祝日の場合はその翌平日）　年末3日間は休館

【美術館】**木曜日**（祝日の場合はその翌平日）　年末3日間は休館

【せんぐう館】**毎月第 2･4 火曜日**（祝日の場合はその翌平日）

※展示替えによる臨時休館有り。
※その他臨時に休館することがあります。詳しくはホームページをご覧ください　神宮の博物館　検索

	令和8年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和9年 1月	2月	3月

徴古館

本館展示【①神宮の祭典と建築(外宮御饌殿復原展示) ②神宮の歴史と伊勢】

古代から近代にかけての神宮や式年遷宮の歴史について、徴古館を創設した神苑会にも触れながら収蔵資料を中心に紹介。
また神宮の概要がわかるような祭典に関する資料も展示。

第63回神宮式年遷宮特集展示　3月28日(土)～7月1日(水)／7月4日(土)～10月7日(火)／10月10日(土)～12月23日(水)／12月26日(土)～令和9年3月24日(水)

令和7年に第63回神宮式年遷宮は始まりの年を迎え、本年令和8年4月にはいよいよ各町をあげての第一次御木曳行事が執り行われる予定である。式年遷宮を奉賛し関連した特集展示を行う。

農業館

1室　神宮の御料

神宮神田や御園･御塩浜などの御料に関連する資料を紹介。また勧農絵画も展示する。

2室　自然の産物と殖産興業

自然の産物がいかに人のくらしに役立つかをテーマに収集された明治期の資料(産業･自然史資料や剥製)を紹介。
また大正から昭和にかけて製作された蠟細工のうち、菌糸類･果樹類蠟細工模型を展示。併せて田中芳男が作製した蠟墨による採取標本(掛軸)等を展示する。

美術館

美術館収蔵品テーマ展
「悠久なる自然」

3月20日(金)～7月14日(火)

わが国の美術工芸作品の歩みを展望できる「美の殿堂」を目指して活動している当館には、平成5年(1993)開館以来当代一流の作家の方々から奉納の遷宮奉賛の真心こもる作品が現在約500点以上収蔵されている。今回はその中から自然を描いた約40点を公開する。

特集展示
令和7年度奉納･神宮式年遷宮奉賛美術品展

7月17日(土)～11月4日(水)

平成7年(1995)より始まった恒例の特集展示。神宮式年遷宮を奉賛して、文化勲章受章者･文化功労者･日本藝術院会員･重要無形文化財保持者の方々から令和7年度中に奉納された美術･工芸作品を一堂に公開する神宮美術館新収蔵品展。

特別展
「明-歌会始御題によせて」

11月7日(土)～12月9日(水)

皇室の「歌会始」の御題を主題とする特別展。今回は御題「明」を二つのアプローチから捉え、近現代の美術品を展観する。

美術館収蔵品テーマ展

12月12日(土)～令和9年4月14日(水)

わが国の美術工芸作品の歩みを展望できる「美の殿堂」を目指して活動している当館には、平成5年(1993)開館以来当代一流の作家の方々から奉納の遷宮奉賛の真心こもる作品が現在約510点収蔵されている。その中から約40点を公開する。

せんぐう館

《20年に1度行われる式年遷宮の祭と、神々に奉られる御装束神宝を調製する技と自然から得られる素材について紹介する》

展示室3 【①永遠の匠たち-御装束神宝調製の技-】

御鞍　　公開中 ～ 令和9年6月21日(月)

展示室4 【②永遠の匠たち-御装束神宝調製の技-】

御鏡･轆轤筥･漆工道具　　公開中 ～ 6月22日(月)　/　玉佩(工程品)･玉佩筥(銀蒔絵工程品)･玉筥(銀平文工程品)　6月26日(金)～令和9年6月21日(月)

展示室8
神宝刀剣の源「鋼(はがね)」

たたら製鉄により生み出される鉄の塊「鋼」を展示し、神宝の御太刀･御鉾調製の材料である玉鋼と製鉄の技術を紹介する。

徴古館農業館･美術館　TEL 0596-22-1700　　せんぐう館 TEL 0596-22-6263